

2021年
(平令和3年)

2020年
(令和2年)

2019年
(令和元年)

1月

全仮置場に保管している除去土壌などの中間貯蔵施設への輸送が完了

12月

阿津賀志山防塁下二重掘地区歴史公園の愛称が「あつかし千年公園」に決定

11月

くにみ自慢のグルメを食べ歩き「くに味(み)でまんぷく!ウォー食ラリー」を初開催
引地町政スタート

10月

観月台文化センター図書室が国見町図書館としてオープン

9月

防災備蓄ゼリー(国見産リンゴ使用の読売巨人軍バージョン)を発売

8月

コロナ禍の中、夏の夜空に希望を灯した「光の祭典」を初開催。町内4か所で同時に花火を打ち上げ。さらに3か所で夏のイルミネーションを実施

1月

くにみ農業ビジネス訓練所で生産しているミニトマトが「JGAP」取得

10月

台風19号が直撃。堤防の越水及び破堤で床上床下浸水19戸、冠水エリア約100haの大被害。県北浄化センターが浸水で機能停止

9月

町の遊休施設をリノベーションした新たな交流拠点「アカリ」がオープン。若い起業家たち家守舎桃ノ音が管理運営

7月

仙台圏で国見の魅力を発信「ふくしま国見Day」初開催やサンモール一番町・藤崎前でモモのPR販売

6月

「くにみ道の駅大交流フェスタ」を初開催



台風19号が直撃



あつかし千年公園 (イメージ図)



夏の夜空に希望を灯す「光の祭典」



国見町図書館オープン



くに味でまんぷく!ウォー食ラリー



くにみ道の駅大交流フェスタ



防災備蓄ゼリー(読売巨人軍バージョン)



1日限定の天空カフェ「うっ茶屋」



仙台藤崎前でモモ PR 販売



遊休施設をリノベーションした「アカリ」がオープン



くにみ農業ビジネス訓練所のミニトマトが「JGAP」取得



国見町の名所や特産品など魅力をPRする各種パンフレット

町のさまざまな人に出演してもらいながら国見町から元気や魅力を発信しようと「国見町ラヂオ課 ももたんFM」が平成24年5月25日からスタート。スタジオを役場仮庁舎2階(観月台文化センターホール)に設置し、毎週金曜日10時から生放送。

平成28年6月には役場新庁舎へスタジオを移して放送を開始。平成29年5月にはランドオープンした道の駅国見あつかしの郷のスタジオから国見町の魅力満載の情報を放送中!

